



学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで運動する子

感謝を伝える会・・今年も

今年度も残りわずかです。登下校で、学習で、学校行事で、地域で、その他

いろいろな形で仁比山小学校を支え・応援していただきました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

仁比山小では、毎年、日頃お世話になっている方々に感謝の気持ちを持ち、お礼の気持ちを伝えるために「感謝を伝える会」を行ってきました。

しかし、コロナ禍の中、今年は例年通りに開催することができませんでした。このような状況でも何とかして気持ちを伝えたいと、今年度は「手作りカレンダー」を作り、お渡しすることになりました。その後、会う方、会う方から「ありがとうございました。」「嬉しかったです。」等々、お礼の言葉をいただきました。中にはお電話やお手紙も……。子どもたちの気持ちが伝わり、皆様の気持ちも受け止めることができ、私の心も温かな気持ちでいっぱいになりました。これからも仁比山小に・子どもたちに力を貸していただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



全校で作り上げた、手作りのカレンダー



カレンダーを見ておられる
学校評議員の方々

ありがとう集会 (6年生を送る会)

2月27日(土)土曜開校日、「ありがとう集会(6年生を送る会)」を行いました。本来ならば、授業参観として保護者の皆様に来校していただくのですが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため6年生保護者のみ参観していただきました。

集会は1, 2, 3年生の出し物中心の前半と4, 5年生の出し物中心の後半の二部制で行いました。(体育館に入っていない時は教室のテレビでリモート中継を参観しました。)在校生は、合唱や劇、ダンス、合奏など、どの学年も6年生への感謝の気持ちをこめた出し物でした。また、司会進行や掲示物にも6年生への思いが込められていました。プレゼントわたし、では手作りのペンダントを5年生が代表して6年生に渡しました。

最後の6年生の出し物は、「生きる」という詩の中に自分たちの思い出と未来に向けた言葉を入れ、堂々と発表しました。その後の「八木節」も歯切れの良い演奏でした。私からの話でも伝えましたが、「言葉にできない」ほどの出し物でした。



いよいよ卒業していく6年生—在校生のためによく動いてくれました。在校生の手本としてがんばってくれました。学校の顔として、いつもがんばってくれました。本当にありがとう。

仁比山小学校のみんなが、これからも6年生の皆さんの活躍を祈っています。みんなのことを応援しています。

